

まなび

発行 松永生涯学習センター編集室
 住所 福山市松永町三丁目1番29号
 電話 084-934-5443
 FAX 084-934-8251
 メールアドレス

matunaga-shougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp

祝 5月1日 松永合併50周年記念日



変わりゆく松永地域。今まで築いてきた文化や歴史を大切にしながら、今後もさらなる進化を続け、つながり、輝きつづける地域をめざして！

『まつながげんきづくりボランティア』



松永生涯学習センターでは、これからの「まちづくり」を担い、行政との協働によるイベントなどの活動を支援して下さる、学生や一般市民のボランティアを広く募集します。

この「まつなが・げんきづくりボランティア」の活動は今年で5年目をむかえます。「ビッグ・サマー・ストーリー」や「まつながカープチェー」などへのイベント参画や学区放課後子ども教室への出前講座など活躍の幅を広げています。共同制作やクッキングなどの活動もおこない、ボランティアのみなさんの交流もどんどん深まっています。今年度もみなさんと、思いを出し合いながら新たな活動をつくっていきます。

これまでボランティアをやってみたい思いはあっても、一歩踏み出せなかったあなた。自分の特技を活かしたいと思っていたあなた。この機会にぜひ“まつなが・げんきづくりボランティア”と一緒に活動してみませんか。

対象

ボランティアをやってみたいと思っている方。

※ 18歳未満の方は保護者の承諾が必要です。活動は福山市の西部地域が中心となります。

活動内容

- ① イベントでの「ものづくり」や「体験コーナー」などの企画・運営。
- ② 松永生涯学習センターや公民館、コミュニティセンターでおこなう事業のときの乳幼児の見守りや活動の支援。
- ③ 日本語教室などにおける外国人市民の方への学習支援。(資格などは必要ありません。)
- ④ 清掃活動 ほか

※申込みをされた方は、ボランティア登録されます。

登録期間は、2017年3月31日(1年間)までとしますが、次年度も継続できます。

【申込み先】 松永生涯学習センター【福山市松永町三丁目1番29号】

電話 084-934-5443

FAX 084-934-8251

Mail matunaga-shougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp



あいことば カープ チェー きょういちにち ゆういき
 合言葉は「Carpe Diem “今日一日を有意義にすごしましょう”」



西部市民センター まなびサロン【5月】

【パネル展示】

「松永のあの頃・あの場所・あの人たち…」

歴史アラカルト

松永の懐かしい場所や人たちについての展示をおこないます。ぜひご覧ください。(協力：福山市西部市民大学 備後の歴史講座)

展示期間 5月16日(月)～5月27日(金)

展示場所 西部市民センター 1階エントランス

【折りばらサロン】

はじめての方も大歓迎です！みんなで折りばらを折ってみませんか？



日時 5月13日(金) 13時30分～15時

場所 西部市民センター1階サロン

「50年後の松永」作品展示

松永管内の小学生に描いてもらい、4月30日・5月1日のフレンドリーピックまつながカープチェーで入り川(クリーク)に展示した「50年後の松永」の作品を展示します。詳細については、次回の「まなび」をご覧ください。

展示場所 西部市民センター 1階エントランス (大型テレビ横)

【問合せ】松永生涯学習センター
(電話 084-934-5443)

子育てサポーターリーダー(ファシリテーター)

養成講座

子育て支援に興味がある方
地域で活動をしたい方 **募集!!**

◆日時

6月1日, 8日, 15日, 22日, 29日

(毎週水曜日 5回連続講座)

13時30分～16時00分

◆場所 まなびの館ローズコム

(福山市霞町1-10-1)

◆内容 「『親の力』をまなびあう学習プログラム」講座の進行役になるためのスキルを学びます。受講後はボランティアとして活動します。お気軽にお問い合わせください!

◆対象 子育て支援に関心のある方

◆定員 25人 ※先着

◆参加費 無料

◆申込み・問合せ先

生涯学習課 電話 084-928-1243



福山ばら祭2016



ONE FOR ALL, ALL FOR THE FUTURE
—ひとりみんなのために、みんなは未来のために—

福山ばら祭2016

5月/14日(土) 15日(日)

http://fukuyama-matsuri.jp/bara/

私たちが福山ばら祭2016を応援しています。



みなさま、ぜひおこしく下さい



情報びっくり箱

本郷コミュニティセンター(936-2312)

福山市コミュニティセンター事業

★行政書士等による

相続・遺言手続きに関する無料相談会

- ・死後、自分の遺産がどうなるのかわからない
- ・遺言の書き方がわからない…など

ただし、税に関するご相談は、ご遠慮ください。

秘密は厳守いたしますので、安心してご相談ください。

- とき 5月28日(土)
13時30分～16時30分
- ところ 本郷コミュニティセンター
- 申込み 事前に予約をお願いします。
- 問合せ・申込み ^{ほんごう}本郷コミュニティセンターへ

松永公民館(933-4864)

松永学区まちづくり推進委員会

★まなび広場 ほのぼの陶芸教室 『幸せを呼ぶ カエル』

- とき 5月14日(土)
9時30分～11時30分
- ところ 松永公民館 実習室
- 対象者 どなたでも
- 講師 山下明子さん(西部市民大学陶芸講師)
- 定員 24人
- 材料費 2,000円
(公民館に見本があります)
- 申込み 必要 5月11日(水)まで
- 持参物 粘土を包むタオル, エプロン



社会教育活動事業

★I LOVE まつなが

- とき 6月4日(土)(開場 13時)
13時30分から約1時間
- ところ 西部市民センター 2階 ホール
- 内容 浪江町消防団物語「無念」
アニメーション自主上映会
- 対象者 どなたでも
- 定員 300人
- 問合せ・申込み 松永公民館へ



神村公民館(933-2913)

社会教育活動事業

★松永道路のトンネルを学ぼう

- とき 5月25日(水)《小雨決行》
10時00分～11時30分
- 集合場所・時間 (9区) 松本トンネル(西側)
9時50分(駐車場あり)
神村公民館 9時30分
- 対象者 成人一般
- 内容 松永道路の松本トンネル/平トンネル/神村トンネルについて、掘削工法や当トンネルの特徴点、防音、安全対策などを現地学習します。
- 講師 国土交通省 福山河川国道事務所
- 申込み 必要 5月21日(土)まで
- 服装・持参物 動きやすい服装(トンネル内見学あり)
飲み物
- 問合せ・申込み 神村公民館へ

松永図書館(933-3770)

☆展示

「あなたの暮らしの中の松永公民館」

- 期間 4月20日(水)～5月25日(水)
- 内容 松永図書館の歴史を写真でふりかえる

☆展示

「本で旅する～心は世界を駆け巡る!？」

- 期間 5月1日(日)～5月30日(月)
- 内容 世界の国々に関する本の展示と貸出

☆わくわくおはなし会

- とき 5月7日(土)
15時～15時40分
- 内容 エプロンシアター「おおかみと7ひきのこやぎ」、大型絵本「くものすおやぶん」とりのちょう」の読み聞かせなど



〈5月の定例行事〉

☆あかちゃんといっしょのおはなし会

- とき 5月9日(月)・10日(火)
11時～11時30分
- 対象 乳幼児とその保護者

☆松永読書会

- とき 5月16日(月) 10時～12時
- 読本 「芥川症」
久坂部 羊/著 新潮社

☆さくらんぼの会(こどもの本を楽しむ会)

- とき 5月23日(月) 10時30分～12時
- 読本 「指ぬきの夏」
エリザベス・エンライト/作 岩波書店

〈〈図書館のお休み〉〉

5月17日(火)



カラース まつながcolors

松永生涯学習センターでは、楽しく活動しながら、松永地域を盛りあげてくださる青年の方を募集します。

まつなが応援隊「まつなが colors (カラース)」の活動は、今年3年目をむかえます。

自分たちの住む地域のことをもっと知り、共感しあえる仲間たちと、楽しい活動をつくっていきませんか。新企画も続々と予定しています。

楽しいおしゃべりや共通の体験を重ねながら、みんなの持っている個性(カラー)を輝かせましょう!

対象 20代・30代の方

活動内容

- ①福山市市制施行 100 周年記念事業 創作オペラ
「ハプテトル ハプテラン」のPRのためMAPづくりをします。
5月~8月 月2回活動予定です。
- ②10, 11月には「まつながさんぽ」を行います。
その他、イベント参画, 交流会など開催します。

【申込み受付について】

受付期間：随時受け付けています。

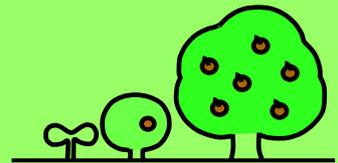
名前, 連絡先を, 次の申込み先にご連絡ください。

申込み先:

松永生涯学習センター【福山市松永町三丁目1番29号】

電話 084-934-5443 FAX 084-934-8251

Mail matunaga-shougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp



チャレンジ! 100周年
ふくやま人材育成ネットワーク事業
「青年のまちづくり参画推進講座」

西部ブロック人権問題講演会

報告

テーマ: 市民意識調査を通して部落問題の『いま』に向き合う

講師: 阿久澤麻理子さん (大阪市立大学大学院創造都市研究科教員)

3月14日に西部ブロック人権問題講演会を行いました。大阪市立大学教授の阿久澤麻理子さんに「市民意識調査を通して部落問題の『いま』に向き合う」というテーマで講演していただきました。

まず、人権とは「思いやり」「やさしさ」という抽象的なものではなく、具体的な人間の諸権利のことであり、万人が平等に、普遍的(一人も取り残さないこと)に、無条件に保持するものであること。

そして、人権尊重とは、対等な立場で同じ尊厳を持った人間として人を見ることができるといふことの確認をされました。人権教育の原則の一つは、エンパワメントで、自分が大切な存在であると気づき、社会の一員と感ずることであるということでした。

現在、マイノリティに起こっている人権侵害として、朝鮮学校へのヘイトスピーチの状況や最高裁の判決により損害賠償が認められたことなどお聞きしました。ヘイトスピーチによる被害実態調査から、「怒り」や「恐怖」を感じたとの回答が多かったが、「許せないけど、同じ社会に生きる人間だからいつかわかりあえる」という希望を表明した生徒が4割あり、その希望に答える日本社会の制度や関係性をつくっていく責任が私たちにあるということを感じました。

「差別はあってはならない」という意識が全体では72.9%に対し、若者は54.5%と低くなっていることから、教育・啓発の大切さをあらためて感じる調査内容でした。



しかくしょう など りゆう ひと えいりもくてき のぞ ろくおん てんじ かくだい みと
視覚障がい等の理由がある人のために、営利目的を除き「録音」「点字」「拡大」などを認めます